

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 510 号	氏名	日浦 健
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	平野 明喜	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、整形外科手術におけるインプラント関連ブドウ球菌感染対策の確立のため、酸化チタンの光触媒作用による殺菌効果を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 酸化チタンコロイド粒子を独自開発し、研究成果を左右すると考えられる種々のバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、紫外線照射時の殺菌効果を細菌学的手法で評価し解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、生体内の環境を想定した血清存在条件下においても、酸化チタンの光触媒作用によるフリーラジカル産生によって表皮ブドウ球菌および黄色ブドウ球菌に対する殺菌作用が生じることを明らかにし、今後の整形外科領域のインプラント手術関連細菌感染症対策の確立に繋がることが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			